



繊維・衣服・  
工芸

# 藏前宮殿製作所

会社概要 2012年10月現在

<b>設立</b>	昭和35年8月	<b>事業概要</b>	仏壇部品製造、小木工製品製造
<b>資本金</b>	300万円	<b>主要製品</b>	仏壇部品(宮殿)製造、茶托、菓子皿
<b>従業員数</b>	1人	<b>連絡先</b>	TEL.0993-56-0091
<b>代表者</b>	藏前 矢須夫		FAX.0993-56-5372
<b>所在地</b>	〒897-0221 鹿児島県南九州市 川辺町田部田3744-1		

私たちの  
得意なこと! できること!

仏壇の宮殿部品製造技術を利用したものづくり

使用素材

檜・タブ・スプルース

具体的につくれるもの

- ・かごつま弁茶托
- ・さくら茶托
- ・菓子皿

それは  
この技術があるから

宮殿製造技術とレーザー加工機による加工技術の融合

川辺仏壇の宮殿製造技術とレーザー加工機の精密な加工技術を組み合わせることにより、さまざまな工芸品を作ることができます。



私たちは  
こんな技術を持っています

川辺仏壇の工程は木地、彫刻、蒔絵など7つに分類され、ほとんどを手作業で行っています。当社は小さな升目で作られた格子を組み上げて作る「宮殿」の工程を専門としています。当社代表の藏前矢須夫は先人の匠の技を受け継ぎ、平成15年に現代の名工に選ばれたほか、平成17年には黄綬褒章を受章しています。



私たちが  
これから展開を目指すこと

宮殿の技術を生かしたものづくりとして、茶托や菓子皿などを製作。特に、「かごつま弁茶托」は2008かごしまの新特産品コンクール奨励賞を受賞しました。これからは、鹿児島はもちろん、桜の名所として知られる地元・南九州市の岩屋公園の桜を題材にした、商品開発に力を入れていきたいと考えています。



工業技術センターから  
こんな技術支援を受けました

☑技術相談・指導 ☑使用設備

商品のデザインから塗装技術までの技術指導を受けました。これにより、レーザー加工機を利用して、様々な工芸品を開発することができるようになりました。



技術屋の  
熱い思い

伝統工芸士  
藏前矢須夫さん



両手を  
合わせる  
暮らしに...

目を閉じて手のひらを合わせると、大切な人が身近にいる安心感や温かさを感じられます。両手を合わせてもらう仏壇作りの仕事は私の誇りです。「技の相続人になろう」をモットーに、本物の宮殿を作り続けます。